



Newsletter No.67

2016年5月10日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

「参院選キャンペーン」報道広がる 安倍暴走にストップを!

レイバーネットの活動の軸は「ウェブサイト報道」です。1日の平均訪問数は約7500人で、記事の反響も大きいです。日々の記事・写真・動画などは有志のボランティアによって支えられています。「報道部」もあるのですが、メールでのやりとりだけで、顔をあわせる会議が近年持っていませんでした。そんな折、湯本雅典さんから「安倍暴走のなか7月の参院選はとても重要。何ができるか相談しよう」と提起があり、2月11日、東京・日暮里の飲み屋個室で急遽「報道部会議」が開かれました。約10



群馬野党予定候補の城越啓仁さん
「みんな選挙に行こう」を歌う

人が熱心に論議し、ウェブサイト「参院選キャンペーン」のページをつくり情報を寄せ合うこと、取材腕章を新調すること、全国の仲間に投稿をお願いすること、などを決めました。すでに滋賀・富山からも記事が寄せられています。ぜひ会員のみなさんの「参院選キャンペーン」への投稿・情報提供をお願いします。野党共闘を押し上げ、安倍暴走にストップをかけましょう。
(M)

「野党共闘」の動き、その何を伝えるか

湯本雅典

私が初めて参院選選挙区1人区に入ったのが1月、その頃はまだ統一候補者が熊本のみという状態で、マスコミも『野党統一候補』調整なお途上(1月9日、毎日新聞)という報道だった。しかし、地方版「市民連合」のような共闘の受け皿を作る動きは、全国各地で始まっていた。東京にいと、なかなか1人区の状況が伝わってこない。もはや現地に行くしかないと思った。

最初に入ったのが長野県。正直びっくりした。市



民グループが野党代表と対話集会を開催し、そこで集会参加者が堂々と民主党(当時)に「共闘をすすめてほしい」と訴え、民主党も「私も国会前では心が動いた」と答弁しているのだ。すごい緊張案だった。是が非でも、今夏参院選で自民党に勝ちたいという雰囲気がかんかんしていた。現在(4月中旬)、長野県を含め1人区の半数を超える選挙区で野党統一候補が誕生している。わずか3か月である。そして地域によっては、連合と全労連が反安保法制の集会を後援するという(「オール埼玉総行動」)ことまでできている。これは、かつてないことだ。

政党間の協議が、市民運動の動きより先行しているなど課題はある。しかし間違いなく言えるのは、市民団体、労組が粘り強く集会開催や政党への働きを続けていることだ。ここに注目するのが、現在のメディアの仕事だと思う。



< レイバーネット活動案内 >

●レイバーネット・メディア基本講座

4月29日、6名が参加し、パソコンの基礎、ビデオ撮影、編集を学びました。

●レイバーネットTV

第103号放送 5月11日(水) シカゴ・レイバーノーツ大会報告を特集。その後、5月25日(水)、6月8日(水)、6月22日(水)と続きます。

●例会

6月15日(水)午後6時半～、スペースたんぼぼ(水道橋) テーマ「安倍政権と朴政権、日本と韓国から見えてくるもの」(仮)ゲスト=金整司さん(元在日韓国人政治犯)ほか

●レイバー映画祭2016

7月23日(土) 田町交通ビル 6F ホールで開催します。国内外のホットな作品を上映します。(詳細未定)

レイバーネット 2016 総会開かれる 危機の時代に精一杯立ち向かおう！

レイバーネット 2016 総会は 3 月 12 日、スペースたんぼぼで開催しました。参加者は約 30 人でしたが、第一部・第二部とも大変充実した集いになりました。第一部の「経過報告」「運動方針」では、いつもより 30 分長い 90 分の時間をとったので、多くの人の発言・討論ができました。その中であらためて「レイバーネット」の意義を共有し、危機の時代に精一杯立ち向かっていこうと確認しました。具体的には、これまでの活動（レイバーネット 16 年・レイバーネット TV6 年）をまとめたパンフレット第二弾を年内に出すこと。川柳班・レイバーネット TV・国際部・報道部など、プロジェクト活動の充実と拡大。また近年やれていなかった「技術講座」「例会」の実施も確認しました。

第二部は中野晃一さん（立憲デモクラシーの会）の講演で、質疑を含めてたっぷり 2 時間行いました。かれは、1990 年代から右傾化した日本政治の流れを具体的にわかりやすく展開。安倍政権の暴走や民主党瓦解の問題点がくっきり見えてきました。また、シールズの話では、学生が自分の言葉で思いを語る姿に感動し励まされたといいます。それは「民主主義が生まれる出産の場に立ち会った気持ち」と表現しました。最後に参院選に向けて市民の力で野党共闘を押し上げ「ボトムアップの運動で絶対に三分の二議席を阻止しよう」と熱く語りました。（講演 DVD 希望のかたは、事務局までご連絡ください）。



< 2016 年度運営委員 > 計 39 人 順不同

伊藤彰信（顧問・全港湾）・河添誠（共同代表・都留文科大学非常勤講師）・安田幸弘（共同代表・技術部）・尾澤邦子（共同代表・ノレの会）・松原明（共同代表・ビデオプレス）・土屋トカチ（事務局長・映像グループ「ローポジション」）・佐々木有美（事務局次長・ビデオプレス）・武田敦（事務局次長・首都圏青年ユニオン）・松元千枝（事務局次長・ジャーナリスト）・下見徳章（会計監査）・高幣真公（国際部・日中労働情報フォーラム）・杜海樹（ライター）・安齋徹雄（出版ネッツ）・岩川保久（翻訳家）・なすび（山谷労働者福祉会館）・東海林智（ジャーナリスト）・木下昌明（映画批評）・八幡純一（国労）・安並克磨（音楽家ユニオン）・森広泰平（アジア記者クラブ）・須田光照（東京東部労組）・ジョニー H（音楽班）・笠原真弓（川柳班）・杭迫隆太・乱鬼龍（川柳班）・堀切さとみ（映像制作者）・西中誠一郎（ジャーナリスト）・小山帥人（大阪）・木村ジョウ（関西報道部）・山口正紀（ジャーナリスト）・白石孝（住基ネット連絡会）・前田健司（インディユニオン）・稲垣豊（国際部）・長島信也（「笑い茸」発行人）・竹内松直（川柳班）・井手窪啓一（関西・なかまユニオン）・大椿裕子（関西・大阪教育合同労組）・根岸恵子（アクティビスト）*新規・遠藤竜太（神奈川教組 OB 会）*新規

< レイバーネット 2015 年度会計報告 >

2016 年 3 月 12 日 会計監査 下見
会計年度 2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日

〔基本財政〕

●収入	
会費	1,182,000 円 (386 件)
カンパ	158,900 円
雑入	25,100 円

小計	1,366,000 円
●支出	
ニュースレター印刷費・発送費	316,220 円 (5 回分)
会議交通費	244,890 円
郵便・宅配	67,349 円
封筒印刷	54,580 円
運搬タクシー	19,110 円
会場費	35,770 円
送金手数料	32,300 円
消耗品文具	56,542 円
謝礼（講師・依頼原稿）	30,000 円
JCA-NET サーバー	138,240 円
事務所維持費	300,000 円 (月 2 万円)
国際部活動費（翻訳）	72,000 円 + 432 円
技術部ウェブ管理費	72,000 円 + 1080 円
備品類（高幣扱い）	77,801 円
雑費	3,464 円

★レイバーネット TVで「セブンイレブン」現役店長が激白！

現在、日本国内で5万店以上存在するコンビニ。その数は、交番や郵便局よりも多いという。交番の中へ入ったことはなくても、コンビニへ入ったことがない人は、あまりいないだろう。そんなコンビニの最大手企業「セブン-イレブン」のフランチャイズ現役店長・三井義文さんに、コンビニ業界の内幕を語っていただく番組を放送した。「セブン-イレブン」のフランチャイズは、端的に言って本部だけが儲かるビジネスモデルだ。特殊な会計方式のもと、契約期間の15年間・24時間365日開店し続ける苦悩と、本部とたたかうオーナーで結成した「コンビニ加盟店ユニオン」の活動などが語られた。

ともに出演していただいたのは、ルポライターの古川琢也さん。彼の著書「セブン-イレブンの正体」は2008年に出版された際、出版物取次会社・トーンで流通拒否がなされたことが話題となった。理由は「セブン-イレブン」の鈴木敏文元会長はト

ーンの出身で取締役も兼務しているため不利益となるからというものの。メディアでは「セブン-イレブン」の批判が少なく、昨年開催さ



れた「ブラック企業大賞 2015」で大賞を受賞しても、「ワタミ」や「ヤマダ電機」のように話題にならなかった理由はここにあります。是非、番組アーカイブをご覧ください。コンビニ問題入門編として最適です。(土屋トカチ)

★レイバーノーツ大会に日本から参加～5/11にTVで報告

アメリカ・シカゴで開催されるレイバーノーツ大会に出席するため、3月29日から総勢20名で団を組んでアメリカへ飛んだ。今年の大会は、過去最高およそ2000人の参加。日本代表団は、アメリカ、カナダに次いで大きな団となった。

「若い日本の組合員にも参加してほしい」と毎回呼びかけても、有給がとれなかったり旅費の負担が大きかったりという理由でなかなか実現できなかったものの、今回はじめて、レイバーネットやコミュニティーユニオン、レイバーナウなど身内でのクラウドファンディングをトライ。レイバーナウの助成金も活用して、20代、30代の組合員が参加した。ジェンダーバランスもばっちりだった。

大会中は百近い分科会が開かれるが、初日、日本代表団も「労働と人権」と題して、若者、女性、清掃労働者などに対する差別とその対策などについて発表した。70名ほどの参加者からはフェミニズムと労働、沖縄基地問題と労働組合のかかわり、原

発労働の実態や若者が置かれる労働環境などについて質問があり、活発な議論となった。重大な責務を成功裏に果たした団員らは、そのあと「Black Lives Matter」「同性婚法のあとLGBTの権利はどこへ」「バーニー・サンダース選挙キャンペーンと労働者」「教員組合会議」などの分科会にそれぞれ参加した。

シカゴ滞在中には、教育予算削減とそれにとまなう学校閉鎖や差別などに抗議するシカゴ教員組合のストもあり、最低賃金引き上げを求めるファストフード労働者などとともに連帯した。4月1日には、3万人近いデモ隊とシカゴ市内を行進した。

日本代表団による報告会は現在企画中。レイバーネットTVでは、5月11日の回で画像や映像をふんだんにお見せしながら報告予定。次回2018年のレイバーノーツ大会にはより多くの組合からも参加してもらいたい。(松元ちえ)

小計 1,521,778 円
★基本財政 △155,778 円 (a)

〔特別会計〕

●レイバー映画祭 2015

収入 (330人参加) 497,413 円
(参加費・チケット・カンパ・物販含む)
支出 311,014 円
差引 186,399 円 (b)

●レイバーフェスタ 2015

収入 (220人参加) 365,200 円
(参加費・賛同金・チケット)
支出 348,670 円
(チラシ印刷・映画代)
差引 16,530 円 (c)

●レイバーネットTV

収入 TVサポーター会費 132,000 円
カンパ 259,694 円
雑収入 3,000 円

小計 394,694 円
支出 放送一式18回分
(会場費・ギャラ・運搬費・スタッフ費用など)
568,370 円

(18回分・平均約30000円)

雑支出 (機材関係その他) 21,820 円
小計 590,190 円

差引 △195,496 円 (d)

★2015年度の決算 (a) + (b) + (c) + (d)
= △148,345 円

★2014年度よりの繰越 638,362 円

★差引残高 490,017 円

<会費の前納・カンパのお願い>

財政状況ですが、昨年度は約15万円の赤字でした。手持ち金額も50万円を割っています。まだ借金もなく健全ですが、もう一回り二回り活動を広げるには資金の余裕が必要です。ぜひ会費の前納・カンパをよろしくお願ひします。同封の振替用紙をご利用ください。(事務局)

3.11 から 5 年～ドイツで初めての川柳デモ

川柳デモがドイツにも広がりました。3.11 から 5 年目のこの時期、東京 (3.10) とドイツ (3.19) の脱原発集会で「川柳デモ」が行われました。以下は、「独狼 / マーティン・トーマス」のレポートです。

* * *

3月19日、ドイツ首都ベルリンで行われた「脱原発かざぐるまデモ」について報告します。これは福島の3.11に連帯したデモです。デモ自体はドイツ風のように気楽な形で太鼓を叩いた組もいるし、シュプレヒコールの組もいました。さまざまなプラカードと数多くの風車があって、よい雰囲気でした。ちなみに、川柳プラカードが大人気でした。何人にも声をかけられて、「それは何でしょうか、詩ですか？」などと聞かれました。丁寧にレイバーネット日本と川柳班の活躍について説明すると、み

んなびっくりしていました。「句を通じてプロテストの声を上げるのはすごく面白い」という意見もあり

ました。この面から見ると、川柳班の国際化の第一歩ではないかと思えます。また機会があればぜひドイツの川柳デモをやりたいと思えます。楽しかったです。(独狼 / マーティン・トーマス)



go go レイバーネット

●映画「アリ地獄天国 (仮)」大阪でもイベント開催

「レイバーフェスタ 2015」で初披露させていただいた映画「アリ地獄天国 (仮)」の長編映画を制作しています。今回もカンパのお願いのチラシを封入させていただいております。しつこくてすみません！前回のニューズレターへカンパのお願いチラシを封入させていただいたところ、60名を超える方からあたたかい支援をいただきました。これで取材が継続できます。ほんとうにありがとうございます。

また、カンパの一部を使用させていただき、5月8日にイベント「漆黒のブラック企業“アリさんマークの引越社”の真実」を東京で開催しました。さらに同規模のイベントを大阪でも開催します。7月31日(日)13時より、場所はロフトプラスワンWESTです。映画「アリ地獄天国 (仮)」追加編集版を関西初上映します。ゲストは阿部潔さん(関西学院大学社会学部教授)、イダヒロユキさん(ユニオンぼちぼち/DV加害者プログラムNOVO)、大椿裕子さん(大阪教育合同労働組合執行委員長)、渡辺輝人さん(弁護士)です。主人公の西村さん、清水直子プレカリアートユニオン委員長も参加します。また、8月27日(土)には東京・本郷三丁目のHOWS講座でも上映とトークがあります。こちらもご参加ください。(土屋トカチ)

●レイバーネットTV、フクシマの番組が英語版に！

2月24日に放送したオープンチャンネル「あれ

から五年～福島からの避難者は今」友人に英語字幕をつけてもらい、短縮バージョンをアップしました。福島での異常出産、県立医大が胎児のデータを収集していること、避難先での差別などマスコミが避けてきた問題を、二人の避難者が意を決して語ってくれています。風評だと言われようと、「疑いをもっている」という事実を隠すことはできない。今語らなければ、なかったことにされてしまう。そんな決意が伝わってきます。チェルノブイリの後を追うかのような事実。海外にも伝えていきたいと思えますので、ぜひご覧ください。アクセスは1ヶ月足らずで19,000を超えました。https://youtu.be/DAc8K_to1Vc (堀切さとみ)

●ビデオプレス『裁判所前の男』『がんを育てた男』

4月23日、ビデオプレスの新作『裁判所前の男』が新聞労連主催の「若手記者研修会」で上映された。約40人の全国から集まった記者たちが鑑賞した。ディスカッションでも、マスコミの世界は「ぬるま湯」で思い切った報道がなかなか出来なくなっているという。そうした中で、『裁判所前の男』は刺激だったようで「初心を思い出した」「元気をもらった」など、大きな反響があった。『裁判所前の男』は自主上映を中心に広げているが、希望者には個人用DVD(65分・3800円)も頒布している。

そして、現在制作中の作品が木下昌明さんのがん闘病と生き方を描いた『がんを育てた男』だ。現代医療の矛盾のなかで、自分の頭で考え、医者とぶつかりながらも、納得する治療法を模索する木下さん姿が新鮮だ。5月末完成予定で、現在、鋭意編集作業が続いている。→ビデオプレス TEL03-3530-8588

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円
(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

現会員数 570名
ウェブアクセス 1日 7,500